

# 第3回 教育改善交流i\*See2006

## シンポジウム・ワークショップ参加報告

システムデザイン学部システムデザイン学科・准教授  
西川 清史

岡山大学で開催された、「第3回 教育改善学生交流シンポジウム・ワークショップ i\*See2006」の参加報告を行う。

本ワークショップの概要および、本学からの参加者は以下のとおりである。

### 1. 日程等

日時：平成18年9月9日（土）10：00～18：00

場所：岡山大学

参加者：約100名

### 2. 当日のスケジュール

- ①以下に示す6大学における活動報告（各10分）
- ②小グループによるディスカッション（5人前後）
- ③大グループによるディスカッション（10人前後）

### 3. 発表大学およびテーマ

- ①横浜国立大学：学生が企画・運営する授業実践
- ②立命館大学：先輩学生と後輩学生による学生相互の学びあい
- ③大阪大学：京大阪大合同イベントの挑戦
- ④和歌山大学：学生参加型授業参観プロジェクト
- ⑤愛媛大学：SCV（Student Campus Volunteer）とは何か？
- ⑥長崎大学：LT の人生～長崎大学における学生参画活動～

### 4. 本学からの参加者（敬称略、以下同）

人文科学研究科	山田 昌久
システムデザイン学部	西川 清史
学生（生命科学）	富永 真規子
学生（人文社会）	山崎 文理
事務	中尾 武敏

当日は、午前中に発表大学における学生参加型のFDへの取り組みが発表された。発表大学の取り組み内容を分類すると以下のようになる。

1. 学生の授業への積極的な参加を促す試み  
横浜国立大学、和歌山大学
2. 学生間の相互支援の試み  
立命館大学、愛媛大学、長崎大学、大阪大学
3. 学生による新規授業の提案

岡山大学（今回は未発表）

昼食をはさんだ午後には、小グループに分かれたグループディスカッションが行われた。各グループは、午前中に報告された6大学のテーマに関連した課題に関するディスカッションを行った。この際、山田および山崎は横浜国立大学のテーマを選択し、西川および富永は愛媛大学のテーマを選択した。ここで行われたディスカッションの詳細に関しては、他の参加者の報告を参照されたい。この後、同一テーマを選択した小グループが合流し、大グループ（20人弱）によるディスカッションが行われ、与えられたテーマに関するまとめを行った。最後に、全員が参加した全体報告会が行われ、ワークショップは終了した。

本学における学生参加型のFD活動を推進していく上で、参考となる点が多く得られたワークショップであった。特に、グループディスカッションにおいて、他大学における取り組みや問題点などの情報が得られた点が有意義であった。来年度以降も参加し、継続的に情報交換を行う必要があると思われる。

